



いよいよ今春からチケットの抽選申し込みが始まる「東京オリンピック 2020」、チケット抽選の事前作業となる ID 登録はお済ですか？
実はかなり前から ID 登録が始まっていたのを知らなかったのですが、WEB 広告で知って早速登録してみました。

TOKYO2020 のチケット抽選方法を見ていると、往復葉書による申し込みは実施されず、Web からのチケット抽選のみが実施されるようですので、TOKYO2020 サイトで ID 登録は必須となります。
IT 弱者切り捨てとか言われて批判されそうな仕組みですが、葉書抽選にかかる膨大なコストも IT なら Amazon や Microsoft のクラウドサービスで、期間中のみ必要なサイズのサーバー性能と領域を借りるだけですから、ずいぶん安価に済みそうです(それでも吃驚するような金額で大手が受託しているとは思いますが...)。軽く時代は変わったな〜とショックを受けましたが、恐らく生きてる間にもう一回オリンピックが日本で開催されることは無いので一番のチケット抽選申込が始まったら早速トライしてみようかと決意しております。

My TOKYO 2020

※オリンピックロゴは使用規約が厳しいので、モザイクでお送りします m(_ _)m

抽選申込のフロー

- ステップ1 TOKYO 2020 ID 登録
- ステップ2 東京 2020 大会公式チケット販売サイトへアクセス
- ステップ3 チケット販売サイト上で、観戦したい競技のチケットを探す
- ステップ4 座席の種類や枚数を選んで申し込み
- ステップ5 抽選結果発表
- ステップ6 支払い・受取り方法選択
- ステップ7 支払い手続き/購入完了



※取扱い方法を説明をナリッシュ小野社長から説明いただきました。小野社長ありがとうございます！

昨年は三重県だけでなく全国的に、台風・地震の当たり年となり、台風や地震襲来の度に停電が多発し生活に多大な支障が生じる年となりました。特に9月に発生した「北海道胆振東部地震」では道内長時間広域停電により、スマートフォンの充電を求めて街を彷徨い、充電できた！と涙する市民の方々が TV 報道され、改めて電気の必要性を痛感しました。

毎度のことですが、喉元過ぎれば熱さを忘れるのが良いところでもあり、悪いところでもある日本人、弊社もいつか停電対策せねばと思いつながら無対策のまま月日は流れていました... が、しかし今回は遂に対策として、HONDA のガスボンベ燃料利用発電機「エネポ」を入手しました！！

エネポは凄いな人気で入手困難となっており、発注した事すら忘れていた2ヵ月経って、お客様である亀山市の「ナリッシュ」様からエネポ入荷したよとご連絡いただき、昨年末に遂に入手できました！

エネポはカセットコンロと同じガスボンベを燃料として使用するため、ガソリンや軽油の管理が不要で取扱いが容易な特徴があり一般事業所様にお勧めの装置です。
災害停電の際には充電用に一般開放致しますので、コムデックで充電できるハズとご記憶いただき、もしもの際は是非お声がけください。

昨年開催した「総務・人事編 その①」では、総務人事で役に立つ無料のクラウドサービスを中心にご紹介させていただきました。
今回は、消費税増税だけでなく、地方企業にとって 2019 年の最大の試練となる、「年に 5 日以上の有給休暇の取得義務化」対策や新時代の勤怠管理、給与計算を中心にお送りいたします。

経営者様・経営責任者様向けセミナー

クラウド時代の勤怠・給与
有給休暇取得 5 日義務化について考える



さよならタイムカード、勤怠管理サービス クラウド給与

参加費
無料!!

お客様 IT 活用力向上計画 第三弾 総務・人事編 その②

【開催日時】
3月19日(火) 15:00~17:00

【会場】 弊社セミナールーム

お申し込みはこちらから！
<https://www.comdec.jp/seminaentry/>



Imadoki

2019
March 03
vol.47

株式会社〇〇〇〇様
20XX年
御社IT環境についての御報告書

項目	概要	備考
業務用PC	業務用PCの更新状況を確認し、必要に応じて更新を行う。	更新完了。
業務用サーバー	サーバーの稼働状況を確認し、必要に応じてメンテナンスを行う。	メンテナンス完了。
ネットワーク	ネットワークの接続状況を確認し、必要に応じて調整を行う。	調整完了。
セキュリティ	セキュリティ対策を確認し、必要に応じて強化を行う。	強化完了。
バックアップ	バックアップの取得状況を確認し、必要に応じて実施を行う。	取得完了。
その他	その他、IT環境に関する事項を確認し、必要に応じて対応を行う。	対応完了。

Copyright (C) 2019 COMDEC All Rights Reserved.

お客様へのIT環境御報告提出について

現在、伊勢市における電子入札において、Windows7が主体となる32bit OS搭載PCの対応終了と移行期限が示されたことで、建設・土木業種のお客様中心に Windows10 搭載パソコンへの移行見積依頼を多数頂戴した事による、納品依頼の集中から作業が遅れ、納品に時間がかかっており申し訳ございません。

入札業務だけでなく業務全般において IT の重要性は年々増すばかりで、「IT の事はコムデックさんに任せてあるよ」というお言葉は嬉しくもありますが、常にその責任の重大さに身の引き締まる思いでもあります。
先日パソコンが朝から起動せず利用できないとの連絡を受け対応を行いました、「パソコンが使えないと今日1日仕事にならない」とお伺いし即日レンタル PC での対応を行いました、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

弊社では単なるパソコン屋さんではなく、業務で利用する IT 環境をトータルで考え、提案する企業を目指しており、今回の Windows7→10 更新に当たっては、お客様に自社の IT 環境を把握し、改善の方向をご検討いただける「IT 環境御報告書」を 2019 年前半に必要とされるお客様にご提出させていただいております。

お忙しい中で恐縮でございますが、IT は企業経営における最重要項目の一つでございます。
弊社社員が訪問の際は、お時間いただき申し訳ございませんがご説明の時間を頂戴いただきますようお願い申し上げます。

IoTです!

ASKULが面白いサービスを開始!

先月の生田専務の記事でご紹介した「ゑびや」さんが在庫の牛乳の自動発注に同じ「スマートマット」を使ってFAX自動発注をしているのは知っていたのですが、大手通販メーカー「ASKUL」様から、同じ仕組みで「お！これはIoTって感じのコピー用紙自動補充サービスがスタートするそうです。

ペーパーレスの掛け声は今も大きいですが、現実に全企業で盛大に印刷が行われ、大量のコピー用紙を消費しては、必要な時に限ってコピー用紙が無い!! ってトラブルが起こり、都度の購入作業を、総務担当が手作業で行っているのではないのでしょうか。

コピー用紙は、在庫切れでの発注では困る商品であり、常に在庫がある状態が求められます。

しかし実際には、最後の1冊を使用した社員と総務の「善意」と「義務感」に頼った管理であり「常に在庫がある」状態を保つのは実は結構大変で、トレイトペーパー同様に切れる前に連絡をもらって手配しないと困るです(笑)

生産性改革 VS 経費削減、1円でも安いコピー用紙を求めるユーザーが月額300円のサービスを使うのか!?

よく考えたら話がおかしいような気もしますが、オモシロいサービスである事には間違いありません。

コピー用紙 自動 配送サービス IoTで残量検知!

with スマートマット

サービス利用料金 月額 **¥300** (税込)

スマートマット 購入代金 **¥0**

お申込みは **2019年2月下旬頃 スタート!**

※サービス内容は変更される可能性があります。

IoTで残量をチェックして、自動で注文してくれるかしこいマットです。

「ASKUL」様の自動配送サービスは、体重計にWiFi通信機能が付けて一定以下の重量になったら自動発注する極めて簡単な仕組みで、2年前に紹介したAmazon Dash ボタンのボタンを押すタイミングを、重量変動に置き換えて自動的に行っているだけです。

「IoT(Internet of Things:物のインターネット)」はアイデアひとつで、人の面倒を解決できるのが面白いですね。

総務の仕事は「面倒だが大した手間じゃない」事の集合でもあります、IoTの支援をもらいながら少しでも面倒を無くして業務の停滞を招かない事に月額300円の価値が見いだせるのが普及の肝となりそうです。

使い方



https://www.askul.co.jp/f/special/smart_mat/

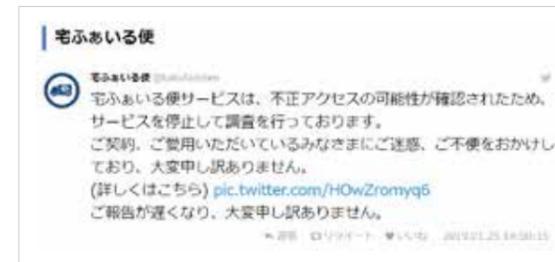
宅ファイル便で 大規模情報漏洩発生!



1月20日過ぎから、無料会員約330万人、有料会員約2万人と多くの利用者がある無料の大容量ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」においてIDやパスワード、生年月日、氏名、住所を含む大規模な情報漏洩が発生し、一か月以上経過した現在もサービスは停止状態となっています。

IT業界目線では、「宅ファイル便」が、退会した会員情報まで保持し続け漏洩しただけでなく、全パスワードが平文で保存されていたとみられる事を問題視しており、改めて無料サービスの管理体制の杜撰さに驚いている次第です。

弊社ではかねてから無料のファイル転送サービスのご利用はお客様に推奨しておらず、ExchangeOnlineによる大容量メール対応やDropboxのご利用をお勧めさせていただいております。代わりの良い無料サービスは無いかととの質問も度々お受けしておりますが、そもそも無料サービスに信頼を求めること自体無理があり、そうした点においては著名な「GigaFile」や「データ便」サービスも100パーセント安全確実というわけではございませんので、ご利用は可能な限り控えていただくようお願いいたします。



経営者様向け情報 常識が変わった!? 振込手数料について考えてみる

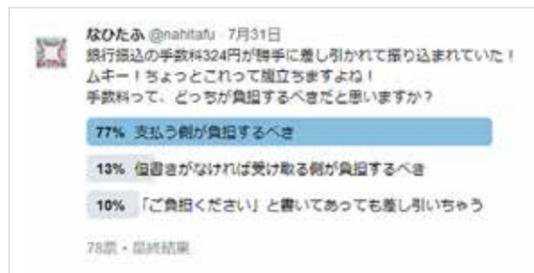
毎月届く請求書をよく見ていたら、「振込手数料は御社ご負担にて願ひ致します」と記載された請求書の方が圧倒的に多くなってきました。

お客様の集金日に集金バックを持って訪問し、領収書を書いて、収入印紙を貼って売掛金回収を行っていた世代の私としては違和感のある記載です。

私も多くの経営者様や経理担当様同様に、「**振込手数料差し引くのは、集金の手間を支払い側が省いているからだ!**」と教えられて育ってきた世代ですから、正直納得いきません。

そこで気になってネットで調べてみましたが、やはり侃々諤々の議論となっております。

2007年頃までは、やはり集金の手間の分...という意見が多いのですが、オンラインバンキングが普及した最近ではもう手間って程じゃないし、現金持ってこられた方が実は手間だという意見が主流となり、支払者が負担すべきというのが普通の認識になっているようです。



また、当社の仕入先への支払は、当然振込手数料差し引いて支払っていると思っていたのですが、意外にも大手メーカーも「振込手数料負担してください」と記載して請求書が来ており当社が負担しているケースの方が多い状態です。

これは...オンラインバンキングの普及で、集金(交通費、人件費、領収書管理、印紙代)比べ支払コストが下がったため、世の中の振込手数料に関する価値観が変わってきたということではないでしょうか?

※法律上は民法第485条にて、「費用は、債務者の負担とする」となっており支払者が負担する事になっています。

経理事務の側面からも、各社銀行・支店が違えば振込手数料が変わり確認が手間、1取引毎に二つ仕訳が発生する、入金との差が振込手数料が合わず調べる事があり結構な手間だそうです。また昨年導入した新会計サービス「マネーフォワード会計」の債務管理機能も振込手数料差引機能が無い(もはや必要ない?)というので、世の中の当たり前基準が変化してきているのは間違いないようです。

振込手数料も塵も積もれば山となり毎年結構な金額になりますから、経営者として一度自社の振込手数料についてご確認されることをお勧め致します。

当社でも、クラウドサービスなど振込手数料を差し引かれますと赤字になるサービスがいくつかあり、先月から見積書や請求明細書に振込手数料のご負担をお願いする記載が追加させていただきました。

大変心苦しくはございますが、現在の情勢等からの判断といたしまして、御社の取引条件に叶いますようなら、振込手数料ご負担のご対応をお願い申し上げます。

当社の実際を経理担当者に詳細に見てもらったところ、お客様からの御入金で振込手数料を差し引いてお振込みいただいている割合は2割程度でした。

恥ずかしながら、真逆の8割くらいが振込手数料差し引いてご入金いただいていると想像していたので汗顔の至りです(^_^)

OMAKE

そういえばCOMDECで、AmazonDash! ボタンはどうなったのか? 一時期はブチブチとなった「AmazonDashボタン」ですが自宅ではゴミとなり廃棄される悲惨な結末に...しかし会社では、まだ生きてました! 大量に消費される来客用のペットボトルの発注用に戸棚の在庫の前で今も地味に活躍しております。

